

# 新制度の申請を行う場合の記入例 (網掛け部分は記入不要)

令和8年12月10日

様式第1号 (第4条関係)

福知山市長 様

申請者 〒620-8501

住所 福知山市 字内記13番地の1 (内記3丁目)

氏名 福知山 ドッコちゃん (申請者自署)

電話番号 0773-0Δ-0×Δ◇

福知山市  
 太陽光 3kW ×40,000円 = ①120,000円(上限16万)  
 蓄電池 5.6kWh ×40,000円 = 224,000円(上限24万)  
 +20,000円(一律加算) = ②244,000円  
 給湯機器 750,000円 ×1/2 = 375,000円  
 (上限20万。昼間沸上げ形自然冷媒CO2ヒートポンプ給湯機の場合、③上限30万)  
 合計 ①+②+③= **664,000円**  
 (なお、①②③について、1,000円未満は切捨てて計算すること)

申請額合計 664,000円 (うち、住宅用給湯機器 300,000円)

事業期間 令和8年7月10日～令和8年11月30日 (住宅用太陽光・蓄電設備)

令和8年10月10日～令和8年11月30日 (住宅用給湯機器)

電力受給開始日(従来のみ) 年 月 日

設置場所 福知山市 字内記13番地の1 (内記3丁目)

住宅用太陽光発電設備

新制度の交付決定額算定に用いる太陽光発電設備の公称最大出力は、  
 ①太陽光発電設備の公称最大出力の合計値  
 ②パワーコンディショナの定格出力の合計値  
 のいずれか低い方で、小数点以下を切り捨てた値

型式名	製造者名	公称最大出力	設置枚数
① 00000	(株)00000	@ 200W	× 20
② ΔΔΔΔΔ	(株)ΔΔΔΔΔ	@ 250W	× 7枚
③		200W×20枚=①4,000W、 250W×7枚=②1,750W、 ①+②=5,750W(5.750kW) ⇒小数点以下を切捨てて「5kW」	枚

型式名	製造者名	設置数
★★★★★	(株)★★★★★	1
パワーコンディショナの 定格出力の合計値	3 kW	公称最大出力 2kW 以上 (下切捨て)

型式名	製造者名	設置数
□□□□ (パッケージ型式□□□□)	(株)□□□□□	1
蓄電容量	5 . 6 kWh	蓄電容量 1kWh 以上 (捨て)

型式名	補助対象 経費
◇◇◇◇◇	¥ 750,000
製造者名	(株)◇◇◇◇◇
機種	昼間沸上げ形自然冷媒CO2ヒートポンプ給湯機 (「おひさまエコキュート」等に) <b>該当する</b> ・ 該当しない

昼間沸上げ形自然冷媒CO2ヒートポンプ給湯機の場合: 上限額30万円  
 それ以外の高効率給湯機器・コージェネレーションシステムの場合: 上限額20万円

「補助対象経費」は、①設置した給湯機器の本体価格と②設置にかかった工事費の合計額(税抜き)で計算

事業着手(契約締結又は工事着工のいずれか早い方)から事業完了(代金支払又は工事完了のいずれか遅い方)までの期間を記入。年度をまたぐ場合は、原則申請不可。  
 事業期間が申請年度内に収まる必要。例外的に、一年以上の事業期間が予定される場合、事業開始承認申請が可能。工程表等を持参の上、事業着手前に窓口で事前相談。

新制度の交付決定額算定に用いる蓄電容量は、単電池の定格容量、単電池の公称電圧及び使用する単電池の数の積で算出される蓄電池部の値で、小数第2位以下を切り捨てた値